

ネペムコジャパン

ネペムコジャパン議事録

会議種別	第4回通常総会		
日にち	2011年 3月 31日	議事録記述日	2011年 4月 4日
議長	Shrestha ANIL	記述者	Shrestha RAJEEB
場所	ネペムコジャパン事務所、千葉市稲毛区小仲台4—13—6		

出席者	名前	出欠	名前	出欠
	Rajeeb Shrestha	○	Jiwan Malla	委任
Ambika Shrestha	○	Sumita Tamang	委任	
Anil Shrestha	○	Laxman Khadka	委任	
Nischit Joshi	委任	Parshuram Kandel	×	
Baburam Maharjan	委任	Ras Kumar Rai	×	

会議目的	ネペムコジャパン通常総会
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2010年度活動報告 2. 2010年度収支決算報告 3. 2011年度活動計画 4. 2011年度収支予算 5. その他

<p>2011年3月31日にネペムコ事務所にて上記の参加者と委任状を持って第4回ネペムコジャパン通常総会が開催されました。冒頭にこの度の東日本大震災の被災者へ黙祷が捧げられました。</p> <p>議長にANIL Shrestha代表が選ばれ、13：20分から理事会が始まりました。</p> <p>本日は第4回ネペムコジャパン通常総会ですので、まずは2010年度活動報告について代表より説明がありました。別紙でまとめられる通り、ネペムコジャパンの独自の事業、在日他団体が開催しましたイベントにネペムコジャパンとして参加したもの、国際交流の活動に参加したもの、ネペムコジャパンと関係のある団体との活動、個人または法人からの協力について、ネパールの社会文化紹介活動について、ホームページによる宣伝事業について時系列的に説明がありました。</p> <p>つづきまして、2010年度の収支決算報告の説明が財務担当より行われました。ほとんど寄付金による収入で、また支出もほとんどネパールのネペムコに対する支援金で前年とあまり変わりありませんでした。</p> <p>その質疑応答のなかで、事業収入を増やして収入の安定を測るのは普通だが、できていないのはなぜだろうかと質問がありました。色々なヒト・カネ・モノの資源不足がこの原因といわざるを得ない結論となり、皆さんの協力を得て2011年度はしっかりとその基礎を築くよう努力することによって一致しました。</p>
--

ネペムコジャパン

2011年度活動計画案には、2010年度に少しでも活動をする事ができなかった計画案を省き、実行可能性の高い活動内容が盛り込まれました。2010年度も予算は練ったもののその通りに配分できなかったため活動するにも支障があったことが認められ、2011年度はしっかり予算を立ててその通りに活動をしていくことになりました。特にホームページを活かし、最大限の情報を発信し、最大限の収入を得られるように努力することに皆さんから拍手が響きました。そして2010年度は計画にありましたコンサルティング事業はほとんど実施できず、その背景には要請は全くないことが指摘され、宣伝に尽力する必要性が高まってきました。

2011年の活動計画が承認されてからそれに対する予算案が発表され、2010年度同様すべての活動にしっかりと予算配分がなされてありました。予算があるからしっかりと活動することに躊躇しないことを促されました。

みんなで拍手の上で本日の通常総会で出された活動報告、収支報告、活動計画、収支予算が承認されました。

議決内容を以下の通りまとめられます。

- ① 2011年度は総会を含めて少なくとも3回会議を開く。
- ② 日本語学校と交渉活動をしっかり進める。
- ③ ホームページ効果を引き出すために定期的に更新できるようにバイトを雇う。
- ④ ネペムコジャパン運営にかかわるすべての費用を出費として計上する。
- ⑤ 誰にも無償のボランティアをさせない。
- ⑥ 借入金額を本年度より少しずつ返済していく。
- ⑦ 特別事業推進費は積み立てていく。
- ⑧ 現金収入になる事業を模索して実施していく。
- ⑨ コンサルタント事業に関してしっかりした契約書を作成する。
- ⑩ 翻訳・通訳事業の契約書を作成する。
- ⑪ ネペムコジャパン公式ホームページを通してネパールの商品販売を実施する。
- ⑫ 役員報酬、給与手当などについても徐々に協議していく。
- ⑬ ネペムコジャパン会員を増やす。
- ⑭ ホームページに最先端の機能を追加して広告宣伝すると同時に、そこから得られる収入を目指す。
- ⑮ 個人及び団体に寄付金を促すべくしっかりと報告書などを公表し、サービスを充実する。
- ⑯ ネパールのネペムコへの支援金を事業費と役員報酬として分ける。
- ⑰ ネペムコを拠点にネパールの手工芸品を輸入する。
- ⑱ ネパールで日本・ネパール文化交流を促す。

次の会議	2011年7月31日（日）13：00～14：30迄
------	---------------------------

場所	ネペムコジャパン事務所
----	-------------